

新年度のまちづくりを問う！

会派で行う集中質問

(会派質問 通告一覧表)



平成27年3月

周南市議会

平成27年第1回周南市議会定例会

会派質問通告一覧表

★3月3日（火）

- 1 新誠会（280分） 1
（兼重 元、田村勇一、坂本心次、清水芳将、立石 修、
土屋晴巳、中津井求、福田健吾、米沢痴達）

★3月4日（水）

- 2 参輝会（190分） 1
（福田文治、長嶺敏昭、青木義雄、尾崎隆則、岸村敬士、
古谷幸男）
- 3 公明党（130分） 3
（吉平龍司、金井光男、相本政利、金子優子）

★3月5日（木）

- 4 周南会（130分） 3
（西田宏三、伴 凱友、友田秀明、長谷川和美）
- 5 刷新クラブ（100分） 4
（小林雄二、田中和末、田村隆嘉）
- 6 アクティブ（70分） 4
（岩田淳司、井本義朗）
- 7 中村富美子（40分） 5

1 新誠会

1 施政方針に対する質疑

2 新年度予算に対する質疑

3 一般質問

1 政治姿勢について

(1) 公約とはいかなるものか、見解を問う。

2 子育て支援策について

(1) 子育て支援に対する基本認識を問う。

(2) 本市の県内における現在の水準及び平成26年度における次の項目の運営実態を問う。

ア 医療費助成制度

イ 公・私立幼稚園、保育所の保育料の支援状況

ウ 延長保育

エ 放課後児童クラブ

オ 病児、病後児保育

(3) 次にあげるこれらの施策は、県内トップを目指せないか。

ア 医療費助成制度を高校卒業まで拡充

イ 公・私立幼稚園、保育所保育料の全額無料化

ウ 小中学校給食費の無料化

(4) 山口県子育て支援・少子化対策基本指針である「やまぐち子ども・子育て応援プラン」(素案)が示されたが、どう受けとめるか。

3 地方創生について

(1) 国が進める政策のその意味と意義を問う。

(2) 周南市の農林水産業の実態及びその人材育成策を問う。

4 道の駅について

(1) 地域活性化に寄与しているか。

2 参輝会

1 施政方針に対する質疑

2 新年度予算に対する質疑

3 一般質問

1 民間活力導入図書館の運営と図書館 I C タグシステム導入の勧めについて

(1) 民間活力導入図書館は全く新しい施設で公共施設の総量抑制方針に矛盾しないという見解だが、5館ある市立図書館を6館にふやすことは現行の図書館ネットワークシステムも業務拡張となり経費もかさむ。新駅ビル建設の財源獲得には唯一で最善という考えでの事業推進か。

(2) ネームバリューや、顧客が感じるステータスから、スターバックスコーヒーの進出に期待の声も多く聞かれるが、CCCとの交渉では当初からブック・アンド・カフェは市立図書館運営がセットでなければ成立しなかったのか。

- (3) 毎年必要となる指定管理料は、市にとって財政的に負担になると思うが、CCCとの協議は既に整ったのか。内容の詳細はどうか。
- (4) 民間活力導入図書館が供用開始になると中央図書館の存在価値はどうなるのか。機能対比や企画能力が進化する可能性について説明が足りないのではないか。
- (5) 実施設計図面の3階吹き抜けは、これまでの提案や新たな利用者ニーズの貴重なスペースが犠牲にならないか。また、図書館の2階3階部分でのCCCの提案はどうか。
- (6) 図書館ICタグシステムにより、人件費の大幅な削減や紛失図書が大幅に減るとともに、市民ボランティアの参画により活性化している先進地がある。初期投資は必要だが、導入により市にとって指定管理料を圧縮できる交渉材料にならないか。
- (7) 中央図書館では、図書館ICタグシステムについては早くから研究していると聞かすが、市の経費削減と図書紛失の抑止力になる。市長部局（中心市街地整備部や財務部）としても垣根を越え、直ちに英断、着手をするべきではないか。

2 にぎわいの創出について

- (1) 新駅ビルに整備される民間活力導入図書館によるにぎわいの創出に期待が集まるが、導入以前にみずからの取り組みによりどのくらいのにぎわいの創出ができていたかが非常に重要である。それがあってこそ民間活力導入図書館による大きな成果が生み出せるのではないか。民間活力導入図書館供用開始までに、どのようににぎわいの創出の素地を構築していくのか。

3 都市公園について

- (1) 長年にわたり未整備となっている都市公園について、どうするのか市の方向性を問う。

4 熊毛地区に導入された都市計画税について

- (1) 都市計画税導入後、熊毛地区にどのような施策を展開したか。

5 道の駅について

- (1) 熊毛総合支所周辺には食事をするところがない。市民からは、農産物直売所と軽食もとれ市民が集える施設が欲しいとの声が多くある。東部の道の駅をどのように考えているのか。

6 市長の市政運営について

- (1) 各施策への取り組みは、市民のためのまちづくりである。構想、計画、仕組みは当然説明責任を果たしていかなければならないが、現在の状況は十分と言えるのか疑問である。より明確にするために現在の機構・機能の組織体系、人員配置を含めて見直すべきと考え、以下について問う。

ア 各スポーツ施設の整備計画とスポーツコンベンション誘致事業

イ 子育て支援体制の取り組み

ウ 徳山駅周辺整備事業、商店街振興の施策及び駅前地下駐車場の整備、並びに新庁舎建設事業

エ 生活交通のシステム実現

3 公明党

1 施政方針に対する質疑

2 新年度予算に対する質疑

3 一般質問

1 子ども・子育て支援新制度について

- (1) 周南市子ども・子育て支援事業計画が策定されるが、ニーズ調査の結果、要望として多かったものは何か。
- (2) 事業計画はニーズ調査の要望が反映されたものになっているのか。
- (3) 認定こども園の開園見込みはあるのか。

2 もやいネットセンター（福祉総合相談の窓口）の体制について

- (1) 高齢者の孤独・孤立を防ぐと期待されているもやいネットセンターのこれまでの相談内容や件数は。
- (2) 福祉専門員等の配置は充足しているとみていいのか。また、新庁舎建設による相談窓口の一本化も期待されるがどうか。
- (3) 地域包括支援センターを中心とした関係機関連携の将来と介護ボランティアのポイント制度導入の進捗は。

4 周南会

1 施政方針に対する質疑

2 新年度予算に対する質疑

3 一般質問

1 防犯灯について

- (1) 防犯灯設置補助金の推移は。
- (2) LEDに更新した防犯灯が、老朽化し取りかえることになった場合に、市の補助はあるのか。

2 嘱託・臨時職員について

- (1) 嘱託・臨時職員は、どのような区分けなのか。
- (2) 雇用者数は、それぞれ何人なのか。
- (3) 雇用期間は、どう設定しているのか。
- (4) 正職員との格差は、どうなのか。
- (5) 嘱託・臨時職員のモチベーションは、確保できるのか。

3 格差拡大への対策について

- (1) 子供の6人に1人は貧困家庭で育ち、経済的貧困は教育の貧困に、そして人間関係に及び、その連鎖は深刻である。自治体での対応を考えるとときではないか。

4 ごみ分別について

- (1) ごみ分別は5種10分別であるが、容器包装プラスチックとその他のプラスチックの分類基準は不明確であり、燃やせないごみとビン缶類、処理困難物も区別が難しい。二、三種類にまとめることができないか。

- 5 総合支所の予算執行の権限について
 - (1) 道路の破損やフェンスの壊れなど身近な少額の事業、緊急対応の必要な事業はできるようにすべきではないか。
 - 6 幼・小・中学校の耐震化について
 - (1) 現状と課題は。
 - 7 学校給食について
 - (1) 異物混入の現状は。
 - (2) 今後の方向性は。
-

5 刷新クラブ

1 施政方針に対する質疑

2 新年度予算に対する質疑

3 一般質問

- 1 幼・小・中教育の今後の方針について
 - (1) 少子化が進行する中で、統廃合についての考え方は。
 - (2) 廃校、休校した学校施設の活用は。
 - (3) コミュニティスクールのこれまでの総括と今後の方向性は。
 - 2 徳山動物園リニューアル事業について
 - (1) 第1工区（北園）の進捗状況は。
 - (2) 第1工区（北園）及び第2工区（南園）の今後の予定は。
 - (3) 施設整備予定について市民にわかりやすく伝えるべきではないか。
 - 3 周南市一般廃棄物処理基本計画について
 - (1) 最終処分場の空き容量と利用可能期間は。
 - (2) リサイクル率向上に向けた方策は。
-

6 アクティブ

1 施政方針に対する質疑

2 新年度予算に対する質疑

3 一般質問

- 1 新南陽総合支所の整備について
 - (1) 新たな新南陽総合支所の整備基本構想の概要は。
 - (2) 整備後に残る部課と職員数は現状と同じと考えてよいか。
 - (3) 駐車場を含めた敷地の今後の方向性は。
 - (4) 西消防署以外に複合化する周辺施設はないか。
 - (5) 出先機関再配置プロジェクトチーム検討報告書に、総合支所は「業務手法の様々な工夫や見直し、職員の育成を図ることにより、更なるサービスの向上を目指す」とあるが、具体的な改善内容は。

7 中村富美子

1 施政方針に対する質疑

2 新年度予算に対する質疑

3 一般質問

1 地方創生について

- (1) 自治体消滅論があるが、市の将来をどう考えるか。
- (2) 国は、地方創生を推進するための施策の一つとして、地方の人口減少に歯どめをかけるとしているが、本市の子育て環境をどうつくっていくのか。